

GLS学び方講座

2021年4月14日

後藤 邦夫 goto@nanzan-u.ac.jp

今学期は情報倫理G3、G4クラス

国際教養学入門 4月28日 2時限

自称ミュージシャン

とても不まじめな学生でした

→ お手本にならない



1. 簡単な自己紹介 (1 min)

- 滋賀県大津市で育つ、大学も自宅通学
 - 小学校は途中から滋賀大付属 (ラジオ少年 (電話級)、バイオリン、学校のコーラス、子供競艇)
 - 県立高校 (サッカー部(2軍だったのでやめたら太った)、科学班、音楽班、バンド活動)
 - 浪人 (1年) – 予備校とパチンコの日々
- 大学 (京都): 数理工学科 (4年) + 博士前期 (2年) + 博士後期 (3年間)
 - バイト: 数学の家庭教師、塾講師、予備校講師、模擬試験採点
 - 音楽: ライブハウス、ビアガーデン、パーティー、コンテスト、解散記念LP
- 南山大学経営学科 → 情報管理学科(新設) → 情報理工(瀬戸) → 理工 (S棟) → 国際教養 (Q棟)
 - 学内で合計5回引っ越した (瀬戸キャンパス内でも1回引っ越し)

2. 大学入学のころ (2 min)

- 第一志望に合格 (工学部数理工学科: Dept. of Applied Mathematics and Physics)
 - 不合格だったらプロミュージシャンを目指したかもしれない
 - 合格したので博士後期まで9年在学するつもりになった
- とてつもない開放感
 - 高校のときのバンドメンバーの誘いで塾講師 (主に中学生)、悪い遊びにも誘われた
 - まず軽音学部。以後学部 (工学部ですが) を聞かれると「軽音学部」と
- 公共交通機関が不便 (1.5時間はかかる)
 - 私鉄乗り換え1回、路面電車かバスでキャンパス前まで
 - 運転免許を取り、車購入 (中古30万円)、自動車通学 (30分未満) – 費用はバイトでなんとか
 - 当時はキャンパス内駐車に制限がなく、学生も駐め放題

3. 大学での学び (2 min)

- 教養的科目: 広く浅くでよい – 卒業後、この話は聞いたことあるなあ、
- 専門科目: 深い学びのきっかけ、興味を持った科目は深掘りして、ゼミ選択
 - 興味をもった科目は他人に説明できる程度まで理解する
- 個人的には数学、工学的な内容など正解がはっきりしている科目は期末筆記試験だけで評価できると思うが、
 - 国際教養は唯一の正解がない学問 (定義、定理、証明の世界ではない)
 - 筆記試験より、こまめなレポート提出のほうが理解度が高い (最近の通説)
- 卒業論文
 - 先生の指導のもとで (少しでも) オリジナリティがある研究を遂行
 - きちんとして、わかりやすい文章を書く練習

4. (放任主義の)大学の講義 (3 min)

- 1, 2年次: いわゆる一般教養 (むかしはゆるゆるだった) – このシステムはなくなったはず
 - 実験、体育以外はあまり出席せず
 - 先生のフルネーム、カレーライスの美味しい作り方で単位を出す先生がいた
 - キャンパスには「立て看板」があるのがあたりまえ、大学紛争で教室に入れない学期は授業なしで単位が出た
- 3年次: ほとんど学科科目 (数値解析、制御工学、ORなど)
 - 特に待ち行列理論 (Queueing Theory) に興味を持った
- 4年次: 研究室配属、卒論
 - 研究室を下宿にしている先輩が2名いた
 - お金を出し合って、ほとんどすべての漫画を購入 (先生も読む)
- 博士前期 (2年間): 専門科目、修士論文 – まじめに勉強
- 博士後期 (3年間): バンド解散、講義なし、ひたすら研究、後輩の指導など

5. 勉強以外 (3 minでは不足?)

- アルバイト: 前述の通り
 - 博士後期のときは自分が通った予備校で講師 (時給1万円/時間 がうれしかった)
- 音楽活動: 大学1年から修士2年まで
 - 軽音楽部内でバンド
 - ライブハウスに毎月出演 (女性ファンもたまに)
 - ヤマハポプコンの本選に出場 (第21回、入賞なし)
 - 検索すると出ますが、その他の出演バンドの中
 - 解散記念にLPレコード (オリジナル曲) 自主制作 (100枚で100万円)
https://www.youtube.com/watch?v=wNY0_h6M_SU&list=PLa4FsPdQ51PF5086fESye8wQauTmhIXxj
- 個性的な2名の先輩がいた (研究室で生活)
 - S先輩(教授): US大学の先生になった Columbia Univ. → UC Irvine (後藤はここで1.5年お世話になった) → 2004に有名歌手と再婚 → 研究費不正利用でcounty jail (元教授に) → どうしてるかなあ (離婚してないかなあ)
 - M先輩(教授): 企業 → 徳島大 → 京都情報大学院大学

6. 大学生1年生に戻れるとしたら

- 一般教養ももう少し勉強すればよかった
 - フランス語 (卒業前に先生に泣きついた)
 - 英語 (My Fair Ladyが題材)、もう一度受けたい
 - 昔は少なかった会話中心の授業を受けたい
- 当時はなかった携帯電話とソーシャルメディアを活用した大学生活

7. 学生にお勧めの本

- 小説: 「夏への扉」 (1956年、R. A. ハインライン)
 - ハヤカワ文庫SF (南山図書館にはないが名古屋市立図書館にある)
 - ロマンチック古典SF (タイムトラベル、コールドスリープ、ロボット)
 - 日本の映画: 6月25日(金) 公開予定
- ちょっと勉強 (本ではないが):
<https://www.internetsociety.org/internet/history-internet/brief-history-internet/>
 - 公式翻訳 French、Spanish、日本語訳 (ISOC日本支部) もある

8. 大学4年間の過ごし方

- 好きなことに熱中: 5年かかってもよい
 - ぼーっとの場合は早めに相談を
- 履修要項や規程を理解する
 - とくに単位数がぎりぎりの場合

9. さいごにひとこと (1 min)

- 学部4年間は勉強のきっかけ – 本格的な勉強は大学院
- ストレス解消には音楽演奏、歌唱
 - 歌で英語を覚えよう (変な歌詞、故意の文法ミスあり)
 - Smoke On The Water/Deep Purple (日記のような内容で面白い)
- カタカナ英語、和製カタカナ英語に注意
 - アイスをください (氷渡すぞ!)
 - コンテンツ → Content (sなしが正しい)
 - Banana、Vanilla、Twitter、YouTube (アクセント位置が重要)
- 便利な時代だから英語学習にICTを活用 (ただし、英語の先生がだめと言ったら使わないこと)
 - 合成音で英語読み上げ サイト例: <https://www.readspeaker.com/>
 - 上の方でEnglish選択、読み上げ文入力、さらにUS/UK、voiceのgender 選択
 - Grammarly (無料機能でも十分)、Google自動翻訳 (Webブラウザのadd-on)、Google Docsの音声入力